

八戸セメント株式会社における県境不法投棄産業廃棄物  
の処理に関する周辺町内会役員説明会

日 時 平成20年9月9日(火)  
13時30分～

場 所 フリースクエア ノヅキ 鳳凰の間

次 第

1 開 会

2 あ い さ つ

3 説 明

(1) 撤去実績について

(2) 八戸セメント排ガス等測定結果について

(3) 今後の撤去計画について

(4) その他

4 質 疑 応 答

5 閉 会

資料1

平成20年9月9日  
県境再生対策室

県境不法投棄産業廃棄物の撤去実績(平成20年8月末現在)

(単位:トン)

年度	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度		平成20年度 (8月末現在)		累計	
	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量	台数	撤去量
全体分	1,096	11,387.88	3,674	39,892.31	4,234	45,922.50	4,643	51,440.23	4,194	44,871.65	17,841	193,514.57
八戸セメント分	—	—	1,164	11,485.81	1,860	18,634.83	2,150	21,842.48	1,214	13,515.64	6,388	65,478.76

## 八戸セメント排ガス等測定結果について

## 1 排ガス測定結果について

同社のセメント焼成炉について、県職員立ち会いのもと、下表のとおり排ガスの自主測定を実施しましたが、全ての項目で「排出基準値」を大きく下回っており、周辺的生活環境への影響はないと判断されます。

なお、試料採取及び項目No. 1～6の分析は計量証明事業者であるエムアールシーユニテック株式会社（八戸市）が、No. 7のダイオキシン類の分析は特定計量証明事業者である株式会社ユニチカ環境技術センター（京都府）が実施しました。

No.	項目	単位 ※1	排出 基準 ※2	セメント焼成炉									
				測定年月日	H19. 4. 17	H19. 5. 11	H19. 7. 20	H19. 9. 20	H19. 10. 10	H19. 11. 8	H20. 1. 8	H20. 4. 4	H20. 5. 1
1	ばいじん	g/m <sup>3</sup> N	0.08	0.005	0.014	0.004	0.011	0.013	0.044	0.020	0.003	0.004	0.008
2	硫黄酸化物※3	m <sup>3</sup> N/h	—	—	—	—	—	—	—	< 4.3	—	—	—
3	窒素酸化物	ppm	350	—	—	—	—	—	—	220	—	—	—
4	鉛	mg/m <sup>3</sup> N	10	—	< 0.1	—	—	—	< 0.1	< 0.1	—	—	< 0.1
5	ふっ素	mg/m <sup>3</sup> N	5	—	0.50	—	0.47	—	—	< 0.5	1.1	0.65	—
6	塩化水素	mg/m <sup>3</sup> N	(700)	11.9	—	—	—	< 5.0	—	20	0.0	—	< 7.3
7	ダイオキシン類	ng-TEQ/m <sup>3</sup> N	(1)	0.094	—	0.039	—	0.016	—	0.017	0.030	—	0.024

※1 「m<sup>3</sup>N」とは、標準状態（0℃、1気圧）に換算した1m<sup>3</sup>のガス量を表しています。

※2 排出基準値は、県及び八戸市と3者で締結している公害防止協定に基づく協定値です。ただし、塩化水素及びダイオキシン類については、基準は適用されないため、同規模の廃棄物焼却施設に係る排出基準値を記載しています。

※3 硫黄酸化物の排出基準値は、煙突の高さや排ガス量等から計算で求められるものです。今回の測定では硫黄酸化物は検出されず、排出基準に適合していました。

## 2 事業場排水測定結果について

同社の事業場排水放流口2箇所について、県職員立ち会いのもと、下表のとおり事業場排水測定を実施しましたが、全ての項目で「排水基準値」を大きく下回っており、周辺的生活環境への影響はないと判断されます。

なお、試料採取及び分析は計量証明事業者であるエムアールシーユニテック株式会社（八戸市）が実施しました。

No.	項目	単位	排水基準 ※	原料排水				ギルンタービン排水			
				H19.6.15	H19.9.27	H19.12.7	H20.6.19	H19.6.15	H19.9.27	H19.12.7	H20.6.19
	測定年月日										
1	pH		5.8~8.6	7.6	7.7	7.9	7.7	7.7	7.6	7.7	7.4
2	BOD	mg/l	30	4.6	0.5	< 0.5	1.6	3.6	0.8	0.9	1.1
3	SS	mg/l	40	16	7	11	7	21	6	13	7
4	ノルマルヘキサン抽出物質	mg/l	5	< 0.5	1.7	< 0.5	1.1	< 0.5	1.7	< 0.5	1.3
5	六価クロム	mg/l	0.5	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02	< 0.02

※ 排出基準値は、県及び八戸市と3者で締結している公害防止協定に基づく協定値です。

平成 20 年 9 月 9 日

県境再生対策室

## 今後の撤去計画について

## 1 平成 19 年度までの撤去実績及び平成 20 年度以降の残量

平成 19 年度の撤去実績に基づき、単位体積重量をこれまでの  $1.0 \text{ t/m}^3$  から  $1.5 \text{ t/m}^3$  に見直しを行った結果、平成 20 年度以降の残量を以下のとおり見込んでいます。

	H16 年度 実績	H17 年度 実績	H18 年度 実績	H19 年度 実績	H20 年度 以降残量③	備考
廃棄物体積 (千 $\text{m}^3$ )	12.0	29.6	29.5	34.1	565.8	③ = 671 千 $\text{m}^3$ －実績
廃棄物重量 (千 t)	11.4	39.9	45.9	51.4	850.0	③ $\div$ ③体積 $\times 1.5$

## 2 平成 20 年度以降の年度別撤去計画量

平成 20 年度以降の各年度別の撤去計画量は以下のとおりです。(単位：千 t)

	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	合計
年度別撤去 計画量	163	194	194	194	105	850

## 3 処理施設の確保状況

平成 20 年度において処理委託している施設は次のとおりです。

## ①焼却施設

- ・八戸セメント(株) : 計画処理量 100 t/日
- ・奥羽クリーンテクノロジー(株) : 計画処理量 130 t/日
- ・(株)庄司興業所 : 計画処理量 3 t/週

## ②埋立施設

- ・(株)ウィズウェイストジャパン : 計画処理量 350 t/日
- ・(株)青森クリーン : 計画処理量 100 t/日

## 4 八戸セメントにおける処理量の増量予定

現行 運搬車両台数：15台 1日当たり処理量：100t程度

増量後 運搬車両台数：20台 1日当たり処理量：160t程度

処理量の増量開始 平成 20 年 9 月下旬